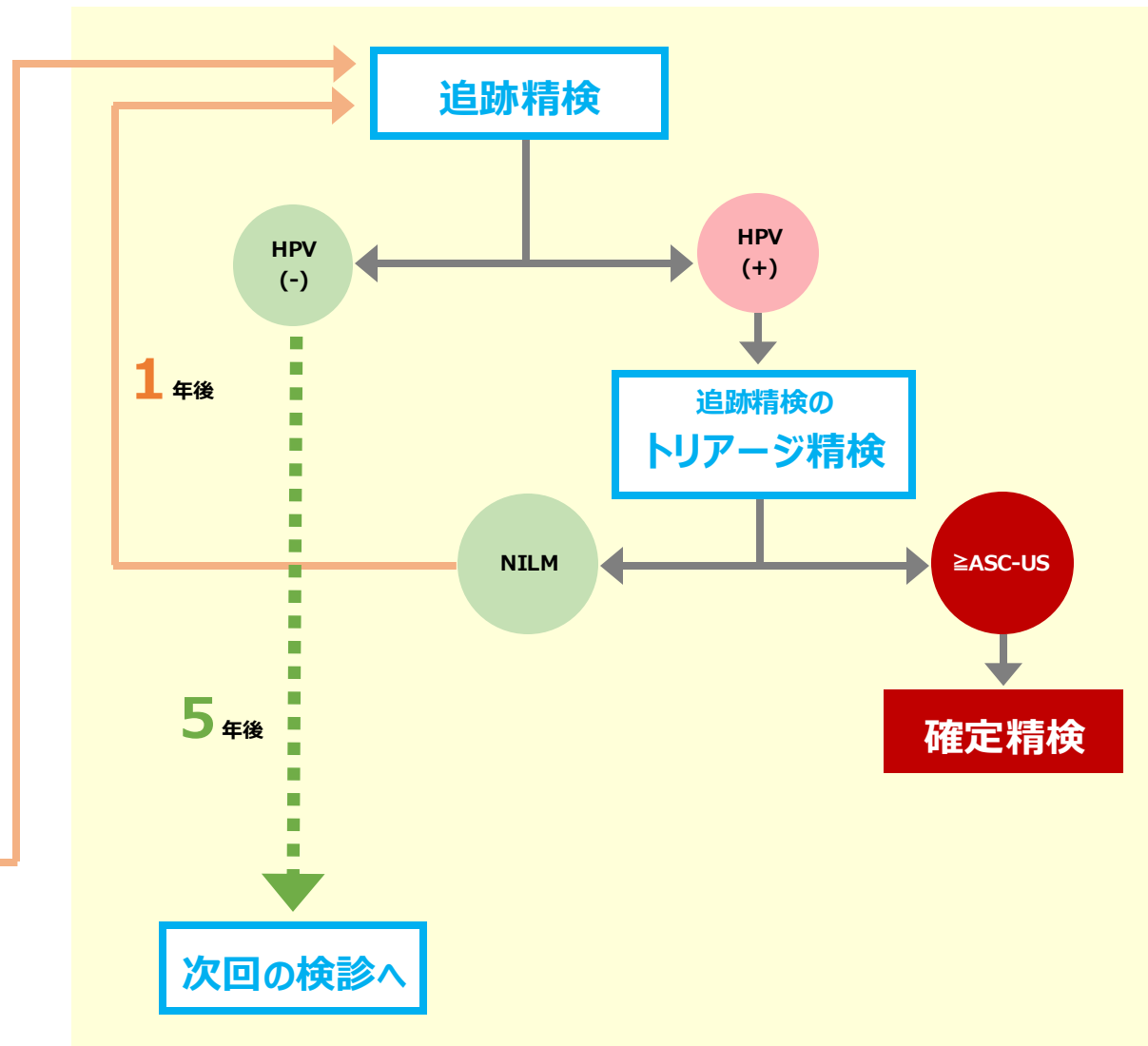
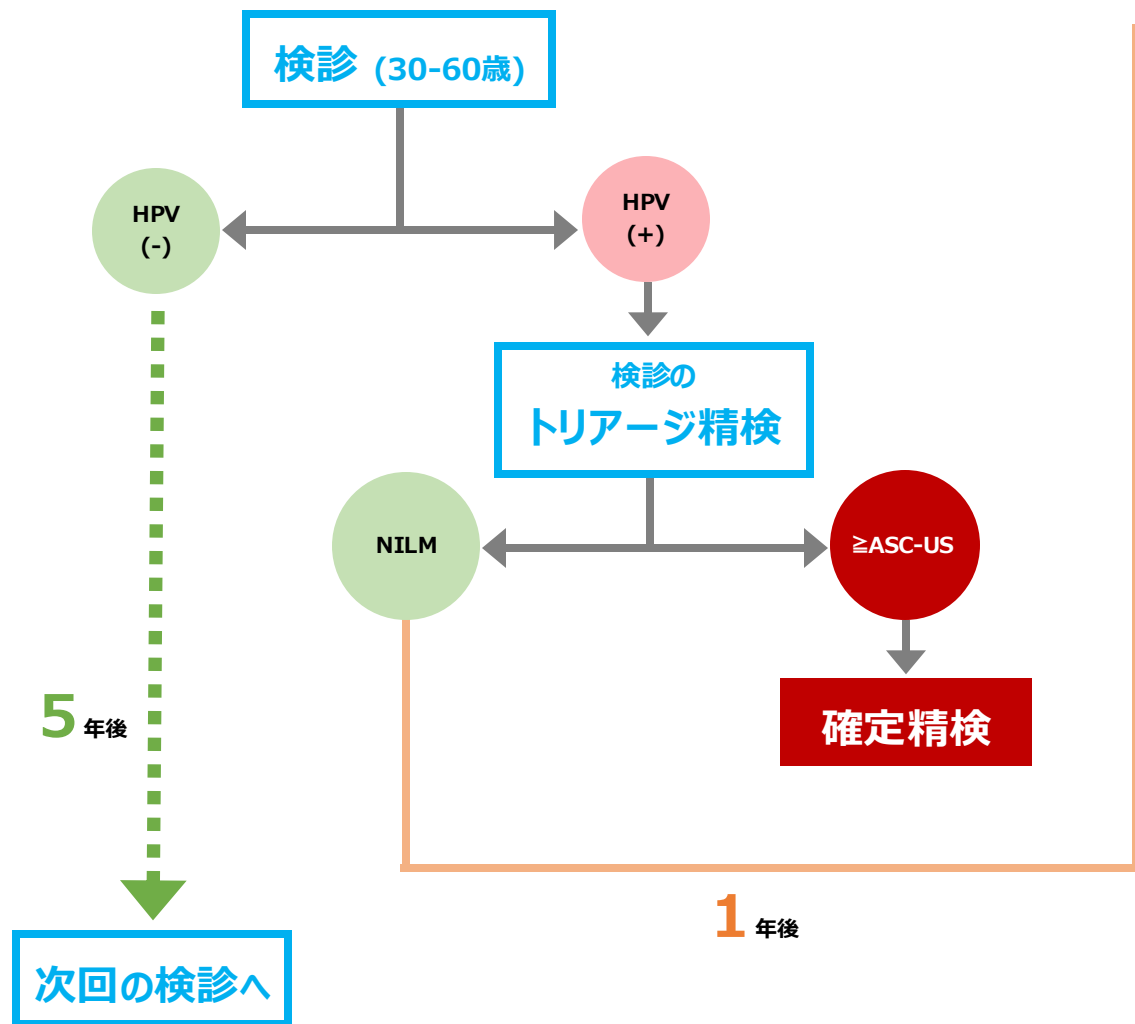


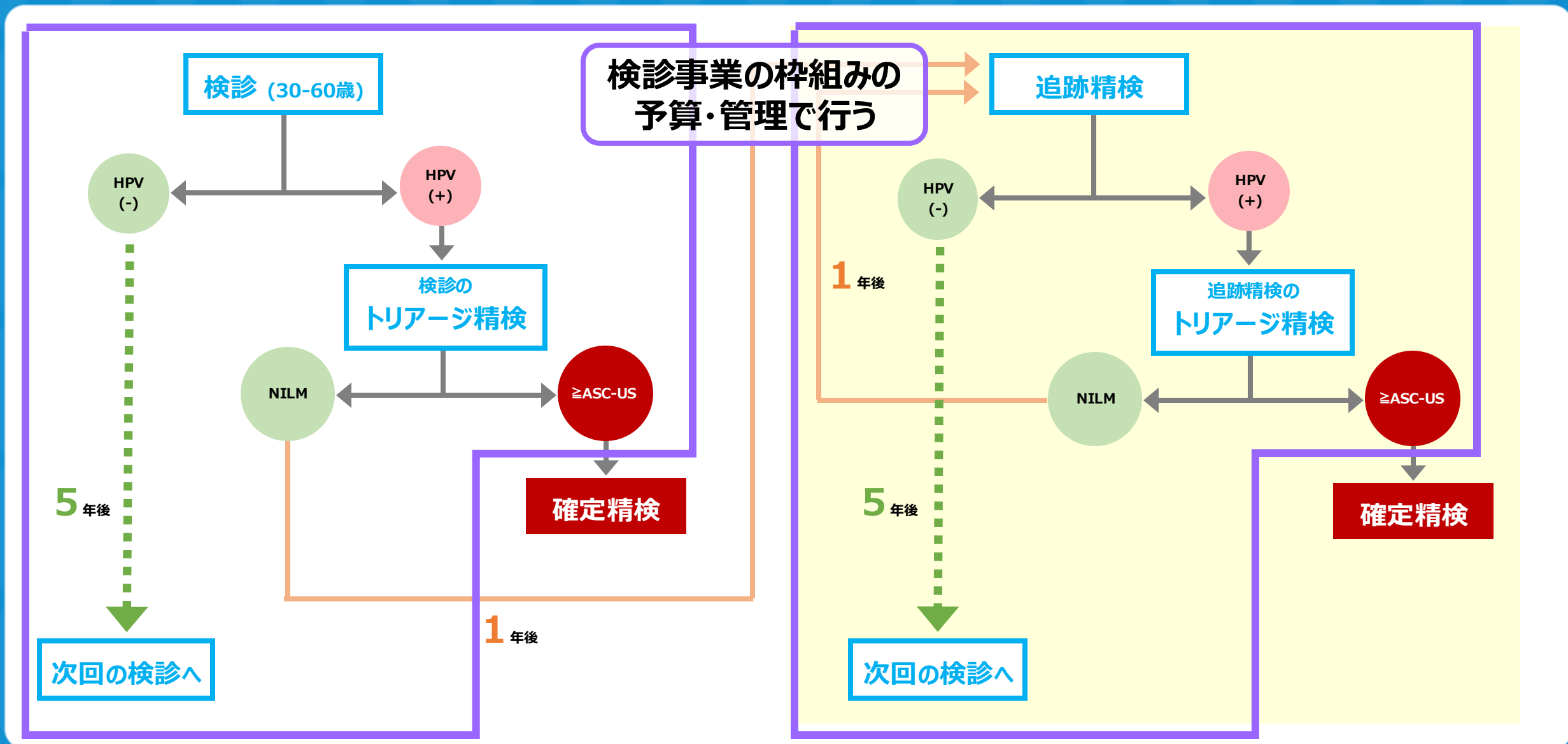
アルゴリズムとは

検診の検査結果ごとに、
次に何の検査を、
どのタイミングで実施すればよいのか、
そのプロセスを定めたもの

HPV検査単独法による 子宮頸がん検診のアルゴリズム



HPV検査単独法による 子宮頸がん検診のアルゴリズム



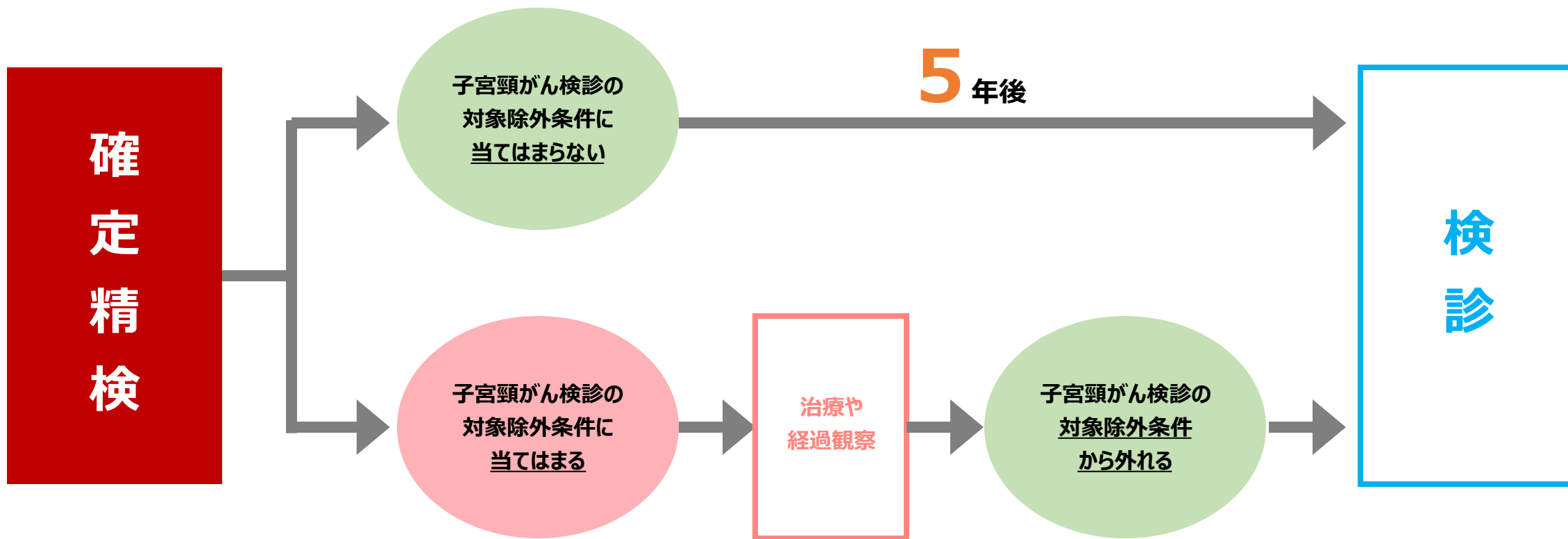
HPV検査単独法による 子宮頸がん検診のアルゴリズム

検査と実施枠組み

	検査手法	実施時期	公的医療保険適用の有無
検診	HPV検査 (液状化検体)	5年ごと の 検診実施時	無し (検診事業の枠組み)
トリアージ精検	細胞診 (検診時のHPV検査で 採取した残余検体を用いる)	検診で HPV検査陽性と判定された後 すぐに実施 ※検診で採取した同じサンプルを用いる (液状化検体)	無し (検診事業の枠組み)
確定精検	コルポスコピー・組織診	トリアージ精検後 直ちに	有り (診療の枠組み)
追跡精検	HPV検査 (液状化検体)	検診/追跡精検の 1年後	無し (検診事業の枠組み)

HPV検査単独法による 子宮頸がん検診のアルゴリズム

確定精検後に検診に戻す条件



HPV検査単独法による 子宮頸がん検診のアルゴリズム

確定精検後に検診に戻す条件

検診の除外条件

確定
精検

- 子宮頸部を有さない者（子宮の手術歴があっても子宮頸部を有する場合は対象となる）
- 子宮頸部浸潤がんの治療中または既往のある者
- 子宮頸部の疾患もしくはその疑いで、医療機関で治療中または経過観察中（医師に検査のために受診することを指示されている）の者
- 性交経験が一度もない者

検
診